

# JITAN PRESS

2008  
WINTER  
issue

北海道自動車短期大学 広報紙 [ジタンプレス] Vol.4

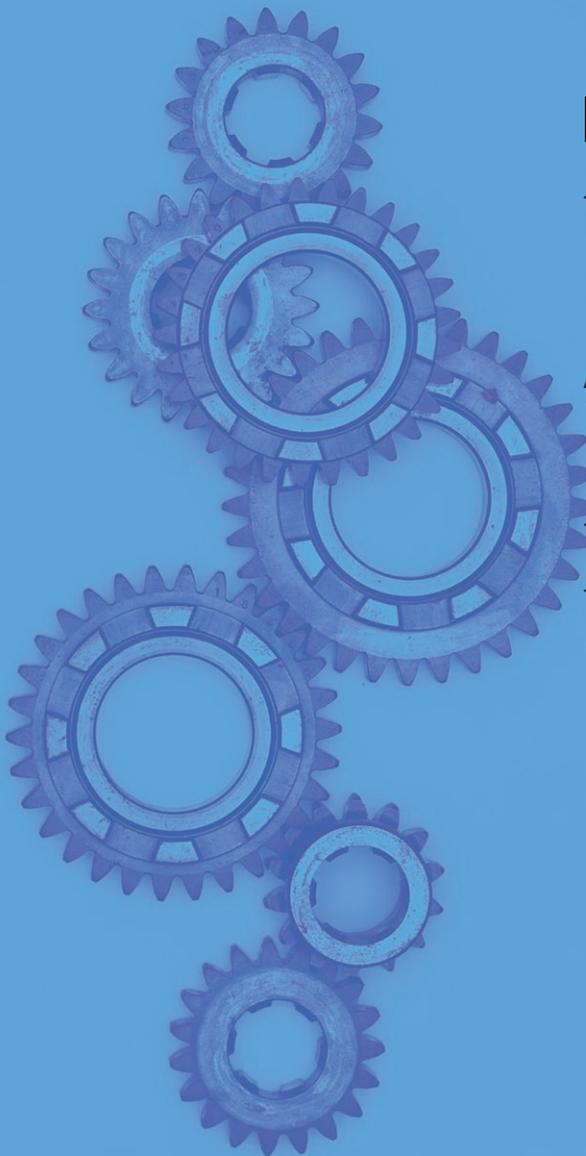
平成20年2月15日(第4号) 発行 / 北海道自動車短期大学 編集 / 北海道自動車短期大学入試部

JITAN NEWS

企業説明会や  
出前授業も実施

実習紹介

タイヤ空気充てん  
作業特別教育



# 実習紹介



自動車整備を学ぶのに欠かせないのが実習。実際の車や部品を使って行われる実習の内容とは？ ちょっと、一緒にのぞいてみませんか。今回は、自動車工業科第二部2年後学期に行われる特別教育をレポートします。

## 今回の実習は 「タイヤ空気充てん作業特別教育」



## 大・中・小のタイヤを 分解・組立・充てん

タイヤの組み立て工程で空気圧縮機を用いて充てん作業を行うときには、法令で特別教育が義務づけられています。夜の実習室では、その特別教育が行われていました。5~6人のグループに分かれた学生たちの前にあるのは、大・中・小のタイヤ。各グループに一人ずつ先生がついて、ローテーションで作業が行われます。

作業工程の説明の後、先生たちが学生に手本を見せます。タイヤとホイールの間に挟んだ金具をハンマーで打ちながら分解し、さまざまな工具を使って元通りに組み立てるまでの工程をじっと見つめる学生たち。トラックなどの大きなタイヤは約100キロの重さがあるので、慣れている先生たちでも作業はなかなか大変なようです。

## どのタイヤも基本は同じ 機械を使わずに体力勝負

いよいよ学生たちの番です。ところが、みんななかなかうまくいかない様子。基本は自転車のタイヤと同じということですが、やはり勝手が違うようです。「ディーラーや整備工場ではほとんど機械での作業ですが、ロードサービスなどの現場ではそうはいきませんからね。そんなときに役立ちますよ」と語るのは、担当の汐川先生。

大きなタイヤには4.5キロのハンマーを使うため、体力勝負です。上着を脱いでTシャツ姿になっていた学生のひとは「昼間はガソリンスタンドで働いているので、講義だとつい眠くなったりするんですけど、こういう実習は大丈夫ですね」と笑顔で話します。はじめは寒かった実習室は、いつのまにか熱気に満ちていました。

## 危険な工程は特に慎重に 学生同士で教えあう姿も

ひとつのタイヤが組み終わったところで、いよいよ空気を入れていきます。今回の特別教育の中で、ここが最も危険な工程です。まずは作業に不可欠なエアコンプレッサーの点検。オイルの確認やタンクの水抜きなどもチェックします。大きなタイヤを前にして、慎重に空気圧を図りながらエアコンプレッサーを操作する学生。その様子を先生たちもじっと見守っています。

「今日はそれくらいいいよ。本当はもっと入れるんだけど」空気圧をチェックしていた汐川先生からOKが出ました。学生たちは、次のタイヤを使った作業に移ります。中には、コツをつかんだ学生が他の仲間々にアドバイスしている姿が……これもジタンの魅力のひとつなのです。

## 担当の先生から ひとこと

特別教育とは本来、事業主が従業員に対して実施するものです。しかし、将来的に現場で必要となる資格ですから、本学でも昨年から実施しています。今回の「タイヤ空気充てん作業特別教育」はその特別教育のひとつ。北海道は夏と冬とでタイヤを交換しますから、タイヤ組み立て作業の機会も多いんですよ。

一番注意しているのは、やはり安全面ですね。タイヤ組み立て時の空気充てんは、全国で毎年事故が起きる危険な作業なんです。実は、事故は初心者のほうが少なく、むしろ少し慣れたところが危ないんですよ。また、中古のタイヤを扱うときも注意が必要です。そのあたりも一緒に教えていますが、学生たちには、今日の緊張感を忘れないようにしてほしいですね。



准教授・一級自動車整備士  
汐川 満則先生

# この先生が知りたい!

斉藤 克博<sup>先生</sup>

ジタンの先生ってどんな人たちなんだろう? という疑問に答える「この先生が知りたい」。今回は准教授の斉藤先生を紹介します

## 前職は北海道警察の科学捜査研究所。 ユニークな学生に出会うのが楽しみです。



以前は北海道警察に27年間勤務し、科学捜査研究所で交通事故の解析や拳銃の検査などをしていました。公務員、しかも警察という非常に固い世界からジタンの教員になった時はちょっと面食らいました。でも、ざっくばらんな性格なので、こちらのほうが自分に合っていると思います。私自身もジタンのOBで、卒業後に北海道工業大学へ進みました。丸山学長はそのときの恩師です。

授業では、機構分野の実習の他に自動車法令の講義も担当しています。たまに拳銃の話や捜査現場の話などもしています。私は学生を呼ぶときは必ずくん付けで、ですます調で話をします。彼らには大学生というプライドを持ってほしいと思っていますし、大人として扱われることで、自信と責任感を持ってくればと思っています。

ジタンの学生には「気のいい奴」が多いですね。年齢は親子ほど違いますが、同じクルマ好きの仲間ですから。それと、非常にユニークな発想をする学生がいて驚かされます。私には考えつかないようなユニークなアイデアに、考えさせられたり、納得させられたりすることもあります。今後もそんな学生に出会えるのが楽しみです。

▶ 斉藤先生の趣味はマラソン。高校時代に陸上部に入ったのがきっかけで、昨年はチャンスがなかったものの、年に数回はマラソンに参加しているそうです。写真は愛用のランニングシューズと、道庁時代にスウェーデンで研修した際のホームステイ先の板。



## Profile

- 昭和44年 北海道自動車短期大学卒業  
北海道工業大学2年次へ編入
- 昭和46年 北海道工業大学卒業  
北海道大学工学部大学院修士課程入学
- 昭和49年 北海道大学工学部大学院修士課程修了  
一般企業を経る
- 昭和54年 北海道警察科学捜査研究所勤務
- 平成16年 北海道自動車短期大学勤務

勉強、趣味、遊び…。  
それぞれの夢に  
向かってがんばる  
自短生のコーナー!

学  
生  
紹  
介

# がんばってます!

## モーグルの強化選手として活躍中! めどすは冬季オリンピック出場。



自動車工業科第一部2年 藤田 直也さん (北海道尚志学園高校出身)

学業のかたわら、スキーマフreesタイル、モーグルの現役選手として活動中です。札幌スキー連盟の強化選手にも選ばれて、海外の大会にも参戦しています。もともとスキーが好きだったんですけど、本格的に始めたのは高校に入ってから。高校のスキー部に、元全日本のモーグル選手だった先生がいたのがきっかけです。シーズン中になると週に4~5回は練習に行くんですが、二級整備士の試験も迫っているので、今は試験勉強もがんばっているところです。やりたいことが思い切りやれるのがジタンのいいところですね。卒業後はアルバイトをしながら競技生活を続けていきます。僕はスタートが遅かったので、どこまでいけるかはわかりませんが、目標はオリンピックです。

## アルバイトと大学生活を両立、第二部学生もがんばってます。



自動車工業科第二部2年 中川 一大さん (洞館高校出身)

第二部は夜間課程なので、30代後半から10代まで幅広い年齢層のクラスメートがいます。みんな働きながら勉強していますから、辛いことがあってもお互いに励ましあったりして。僕も最近までずっと、昼間はレンタカー会社でアルバイトをしながら大学に通っていました。一番シビアになったのは時間の使い方ですね。仕事と勉強を両立させるためには、時間をムダにはできませんから。アルバイトではお客様との接し方も学びましたね。それまでは人と話すのが苦手だったんですが、かなり鍛えられました。卒業後は車体工学専攻に進学予定で、将来はクルマをカスタマイズする仕事に就きたいと思っています。雑誌に載っているようなガレージショップを開くのが夢ですね。

## JITAN BOOK REVIEW

### 「ディーゼルこそが、地球を救う」



新しい年を迎え、今年から“気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書”の期間に入りました。日本は温室効果ガスの排出量を1990年比で-6%にしなければなりません。その手段として、自動車に出来ることは何かを考えさせてくれる本です。この本は、ガソリンエンジンよりも二酸化炭素の排出量が少ないディーゼルエンジンの方が地球温暖化防止に役立つとの視点で書かれています。是非、読んでみてください。

准教授 工学博士 金子 友海

■著者 小川英之・清水和夫・金谷年展 ■サイズ/ページ B6版/231ページ ■定価 1,680円 ■出版 ダイヤモンド社

NEWS

学内企業説明会

就職部長 山崎 信行

就職活動は9月から始まる就職ガイダンスでスタートします。ガイダンスの中では自動車関連企業を7つに分け、その実情や将来性、そして入社後の研修制度や仕事内容などについて各業界の代表企業の方に直接講演をしてもらっています。メーカー系乗用車ディーラー(札幌トヨタ自動車、札幌日産自動車、札幌トヨタ)、メーカー系大型車ディーラー(日野自動車、自動車系製造業(啓愛社ニッセ)、損害保険会社東京海上日動調査サービス、三井住友損害調査)、建設機械(ヘルコレーン、日立建機)、自動車関連販売業(安全自動車、イヤサカ、日本エンヂニアサービス)、テストコース業界(ETテクノ)以上がこの2年間に講演された企業です。これらの講演で興味のある業種を絞り込み、具体的な志望先は2月に実施される学内企業説明会で決定します。昨年度から好調な就職状況を踏まえて、参加企業を人材派遣会社を除く全国の自動車関連企業に対象を拡大したところ、以前の2倍以上の企業が参加し、100社を超える盛況ぶりでした。今年度も2月1日に本学を会場に学内企業説明会が実施されました。



参加企業は、昨年度の102社を大きく超えました。製造業(自動車部品メーカーなど)13社、自動車系情報通信業1社、運輸業(バス会社など)4社、自動車関連販売業19社、自動車販売業(メーカー系ディーラーなど)63社、自動車損害保険業界(技術アシスタ職)7社、自動車系サービス業(自動車研究開発職)13社、自動車整備業(民間整備工場)5社の125社で実施されました。特に本州企業の自動車関連製造業、損害保険業での求人意欲が強い傾向があります。企業研究をできる絶好の機会となりますので、しっかりとした気持ちで企業の方と接し必要な企業情報を得てもらいたいと思います。

NEWS

「大学Jr.サイエンス事業」の実施について

准教授・工学博士 金子 友海

文部科学省生涯学習政策局の「大学等開放推進事業」の一環として、12月2日と16日の2回、小学校高学年の子どもの親が協力して自動車用エンジンの分解・組立・始動を体験するイベントを実施しました。

このイベントの内容は、本学の1年生が前学期に行う実験実習(エンジンの分解・組立)とほとんど同じです。ただ、普段の実験実習のように十分な時間が確保できないため、エンジンについての話を聞いた後、エンジン分解から始めて、オイルパンを外したところから折り返し、組み立てました。「ポルトやナットの取り付け・取り外し」などの作業は子どもが行い、「重量物の組み付け」や「複雑な作業」では、親が子どもをサポートしました。最後にエンジンを始動させると、エンジンからの大きな音に子どもたちは驚いていました。今後、このようなイベントを通じて、みんなの理科系離れを防ぐとともに、自動車の好きな人が増えればと思います。



NEWS

宮下 義孝先生 国土交通大臣表彰受賞

教授 一級自動車整備士 城戸 章宏

平成19年10月26日、自動車工業科の宮下義孝教授が、長年にわたる自動車整備技術者育成に尽力された功績により、国土交通省において冬柴鐵三国土交通大臣から表彰されました。

宮下先生は昭和40年4月に北海道自動車学校整備専攻科助教として奉職し、昭和45年4月に本学の助手に着任、以来37年間の長きにわたり自動車整備技術をはじめ、主に自動車検査を専門分野とした教育・研究に専念し、多くの優秀な卒業生を送り出してきました。また、土別市に設置された寒冷地技術研究会のテストコースにおいて、平成元年から買収して雪氷路における自動車の運動特性に関する研究を続けています。学外においては、昭和54年8月から北海道運輸局自動車整備士技能検定専門委員の公職に就かれています。

現在先生は教務部長として忙しい日々を送られていますが、今回の表彰はそうした日頃のご努力に相応しい贈り物となったのではないのでしょうか。本当におめでとうございませう。



現在、学生の理科離れが深刻な問題となつていますが、本学では工学系科目の楽しさを広めるべく、自動車に関する各種の出前授業・実習を行っています。昨年は9月から11月にかけて、厚岸夕見高校、苫小牧南高校、日高高校、中標津高校、檜山北高校の5校に行つて来ました。その折、同窓会の丁西会から寄贈していただいた「トヨタ・コースターバン」をサポートカーとしてフル活用いたしました。サポートカーにレシプロエンジン、ロータリーエンジン、トランスミッション、ハイブリッドシステムのカットモデルなどを満載して行つた出前授業・実習はいずれも大好評でした。特に、エンジン始動実習では排気音に始めは尻込みしていた学生たちもエンジンのメカに見入っていました。今後は出前授業・実習のメニューを更に充実させて、本学ホームページなどで公開していく予定です。小中高を問わず多くの学校からの申し込みをお待ちしております。



NEWS

昨年の出前授業・実習について

入試部長 城戸 章宏

TOPICS

実験実習車両の寄贈について

教授・一級自動車整備士 長谷部 敏樹

自動車工業科実習の時間講師をされている吉田先生(本田技研サービス技術センター札幌OB)から車両の寄贈のお話があり、「ホンダ・MDX」「ホンダ・インサイト」を、本田技研工業アフターマーケット営業部サービス技術センター札幌様から正式に寄贈を受けました。MDXは機構分野で車検・定期点検などの実習に使用され、また、インサイトは自動車工学専攻で、電子制御装置のセンサー・アクチュエータ類の信号電圧やオシロスコープ、故障診断などの実習で使用しております。インサイトはホンダ初のハイブリッド車であるため、学生の人気も高く、実習にも熱が入っている様子が伺えます。貴重な車両を寄贈頂きました本田技研サービス技術センター所長の安藤様には厚く御礼申し上げます。



NEWS

丁西会発足50周年記念事業

丁西会・広報部長 永倉 史倫

会員相互の親睦と母校発展のために1957年(昭和32年)に発足した北海道自動車短期大学丁西会(同窓会)は、2007年9月に会の発足から50年目を迎えました。丁西会では、会の半世紀に亘る活動と今後の母校の発展を祈念し、丁西会発足50周年記念事業を行いました。

50周年記念事業として、「丁西会50周年記念ホール」の設置、母校自動車短期大学へのマイクロバス寄贈・50周年記念誌の発行、記念式典の開催」などを実施しました。

また、これらの事業を行うために丁西会では当大学の今田美明名誉教授を実行委員長として記念事業実行委員会を組織し、協賛募金活動に取り組み、丁西会会員をはじめ自動車関連企業、団体、母校自動車短期大学の教職員など多くの方々から協賛を頂きました。



2007年9月8日に開かれた50周年記念式典では、「丁西会記念ホール」と「マイクロバス」の贈呈式が行われ、丁西会から短期大学に目録が渡されました。また、丁西会に貢献した会員69名に対し九谷田会長から感謝状が贈られました。

club クラブ

ラリージャパンオフィシャル ボランティア活動記

モータースポーツ研究部 1年 山陰 顕

昨年のラリージャパンは前年に比べてほぼ1カ月半遅れの10月26日〜28日に帯広とその周辺地域で開催されました。我々モータースポーツ研究部はオフィシャルボランティアとして21日から27日迄の1週間参加させて頂きました。



主な仕事は、本部での受付、備品のチェック、緊急車両への荷物の積み込み、及びレッキ(コースの試走)の手伝いなどで、本番前から準備に追われていました。本番初日はスタート手前で車両のナンバーチェックをするタイムコントロールを、二日目はラリーコース脇にて通過車両のチェックを任せられました。とても忙しく厳しい仕事ではありましたが、ドライバーやコドライバー、ボロボロになったマシンなどを目の前で見るのが出来、とても興奮しました。



今回は様々な体験をし、色々な人たちに会うことが出来ました。私はその人々との交流が何よりも良い経験だと思っています。今年のラリージャパンは札幌圏で開催するので、興味がある方は是非一緒にオフィシャルボランティアに参加しませんか。

# 職場探訪

さまざまなフィールドで活躍するジタンのOB・OG。  
そんな卒業生たちのイキイキとした姿を  
現在の職場を通じて紹介する「職場探訪」。  
今回は札幌日産自動車(株)の仲 祥征さんです。



## オープンキャンパスでジタンに進学決意。 直前のがんばりで二級整備士試験も突破。

入社してもうすぐ丸二年になりますが、この店舗には他にもジタンOBがいるし、工場長の安彦さんも先輩なので、なにかと心強いですね。今は主に12カ月点検などを担当しています。毎日の業務の中で気をつけているのは、やはり安全面。リフトの上げ下げなど、基本的なことをきちんとやるのが大事だと思っています。

昔からクルマやメカに興味があったので、進学は工業系の大学にしようと思っていました。実は、ジタンにするか北海道工業大学にするか迷ったんです。ジタンに決めたきっかけのひとつがオープンキャンパスでした。参加しているみんなが真剣で、それにも影響されたかな。だから、受験生のみなさんも、オープンキャンパスにはぜひ行ったほうがいいですよ。

卒業後は自動車工学専攻で二年間学んで、なんとか一級整

備士試験にも合格することができました。二級整備士が難関だとはよく知らずに専攻科へ進んだんです。怖

いもの知らずで感じていたね(笑)。そのぶん、試験前は必死で頑張りました。二級整備士の資格が直接仕事に役立つのは、これからですね。現場では、資格より経験だと思っていますから。

シフト制で、休みは月に8〜9日間です。苫小牧に友達がいるので、ドライブがてら遊びに行ったり。あと、専攻科時代の仲間ともちよくちよく会っています。励ましあって一緒に試験勉強をした仲間ですからね、いろいろな話題で盛り上がりそうですよ。

クルマやメカのことを本気でやりたいのなら、ジタンはおすすめです。僕自身、毎日やりたいことができていくという充実感がありますから。将来的な目標として、まずはしっかりと仕事をができるようになりたいですね。すべてはそれからだと思います。

### 仲 祥征さん

札幌日産自動車株式会社篠路南店 勤務  
自動車工学専攻 2005年3月修了



# 3/20(祝) 新2・3年生のための オープンキャンパス 開催



オープンキャンパスを3月20日(祝)に開催します。新2・3年生はもちろん、父母や先生、社会人の方も大歓迎! 本学教員がナビゲート。入試相談コーナーもあります。ぜひお気軽にご参加ください!

**11:00~**  
(受付10:00~)

**昼食・  
ドリンク付**

スケジュール

10:00 受付

11:00 ガイダンス・施設見学・入試相談・  
就職・奨学金相談 など

**循環送迎  
バス運行**

●地下鉄中の島駅から  
本学まで

## 2008年入試イベントスケジュール

- 6月14日(土) チャレンジメカニック2008 [第1回]
- 6月28日(土) オープンキャンパス2008 [第1回]  
チャレンジメカニック2008 [第2回]
- 7月12日(土) チャレンジメカニック2008 [第3回]
- 7月26日(土) オープンキャンパス2008 [第2回]  
チャレンジメカニック2008 [第4回]
- 8月 9日(土) オープンキャンパス2008 [第3回]
- 9月20日(土) オープンキャンパス2008 [第4回]

※チャレンジメカニックは、体験型実習です。(事前申し込みが必要です)

9:30~10:00は約10分間隔、10:00  
~11:00は約20分間隔で運行。帰りのバスはガイダンス時に連絡します。

※詳しくはお問い合わせください。

**当日参加  
大歓迎!**



学校法人 北海道尚志学園

**HAEC 北海道自動車短期大学**

〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条6丁目2番1号

●地下鉄南北線「中の島」駅より徒歩13分

●じょうてつバス・南65の中の島線 環56平岸線「中の島1条6丁目」停より徒歩1分

☎0120-509-241 FAX (011) 821-7300

お問い合わせ…e-mail: nyushi@haec.ac.jp

[www.haec.ac.jp](http://www.haec.ac.jp)

学校法人北海道尚志学園 ●北海道工業大学 ●北海道薬科大学 ●北海道総合電子専門学校  
●北海道尚志学園高等学校 ●北海道自動車学校

